

7. 京都ノートルダム女子大学

テーマ	授業ツールという観点で見るメタバースの可能性～高大連携授業やオンデマンド授業における実践事例	
発表代表者	濱中 倫秀 京都ノートルダム女子大学 社会情報課程 准教授	
連名発表者	渡邊 詞水	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 生活環境学科 3 年次生
	谷川 千夏	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 こども教育学科 3 年次生
	尾崎 日沙乃	京都ノートルダム女子大学 社会情報課程 1 年次生
キーワード	メタバース	高大連携授業
	VR	
発表の概要	web3.0 の時代を見据え、メタバースの活用が様々なシーンで見られるようになっている。従来のオンラインコミュニケーションツールとの違いは、アバターと呼ばれる自分の分身が仮想空間内で様々なコミュニケーションをする点にある。一方で、プラットフォームも多様化しているため、特徴や用途にあわせて最適な選択をするスキルが必要である。今回の発表では、メタバースサークルの立ち上げ経緯と目的、そして今日に至るまでの授業その他の実践例を紹介する。また、特に高大連携授業をはじめとする事例と今後の可能性も考察したい。	